

『御心を行なうのは誰』 マタイ6章6～10節 2018.1.21(主日礼拝説教より)

『人の心には多くの計画がある。しかし主のはかりごとだけが成る。人の望むものは、人の変わらぬ愛である…。』／『わが神。私はみこころを行うことを喜びとします。あなたのおしえは私の心のうちにあります。』

箴言 19 章 21～22 節／詩篇 40 篇 8 節

①神の願い(期待)を知る…神の御心は二つ…①「神の定めた計画」と、②「神の私たちへの期待」。①はほっといても実現する！しかし②は、「私たちに委ねられた、果たすべき責任」！私たちが応答した時に実現する！「天の御心が地にも…」とは、「どうか父よ、あなたの御心を私たちが受け止め、責任を果たせますように」と願い求める祈り！

②神の召し・献身の願いに応答する…あなたの人生で、一番大切なのは誰？「父なる神様、あなたが一番！あなたの御心を行うことが私の喜び(詩篇 40:8)！」…だろうか？◆イエスは弟子たちを「奴隷」ではなく「友」と呼ぶ(ヨハネ 15:15～17)！「奴隷」は主人の命令を理解せず、渋々実行する！しかし「友」は、相手の願いを知り、気持ちを察し、喜んで実行する！友は常に良き理解者！味方！愛し合う者！イエスに選ばれたのは、私たちが「行って実を結び、その実が残るため」。「実」とは「救われた魂」！私たちの交わりを通して救われる人が起こされる…「御心がなりますように！」。

③神様の御心に喜んで従った人(ルツ 1:16～2:3)…ルツはモアブ人だったが、いつの日からか、本当の神様を信じ、喜んでナオミに連れ添い、ユダヤの国まで来た(ルツ 1:16～17)！自ら進んで「落穂拾い」へ出かけたが、そこは「はからずも」ボアズの畑！神を素直に信頼するルツの人生は、人の目には「はからずも(偶然)」でも、背後に神の主権による選びがあった！彼女はボアズと結婚し、子孫にダビデ王が生まれ、ずっと先にはキリストが誕生する！知らぬ間に御心のままを歩み、驚くべき祝福に与った！「人の心には多くの計画がある。しかし、主のはかりごと(御旨)が成る(箴言 19:21)」！神は私たちの人生の全てに積極的に関わりたいお方！「御心」が行われる所には、いつも父なる神の最善を単純に信じる心がある！その心で「御心が地にも」と祈る時、はからずも！想定外に！驚くばかりの御心が実現し、ただただ聖名を崇めるばかり！『人の望むものは、人の変わらぬ愛である(箴言 19:22)』

★あなたは、父なる神様が常に最善をなさることを、素直に信じておられる？その人生は、「はからずも」驚くばかりの祝福に与る！御心を願う心は常に、『平安』！失敗も困難も、この平安を奪うことはない！天におられる私たちの父なる神の御心を、私たちが、今、ここで実現できますように！